

数学解答

1	(1)	$-\frac{1}{2} [-0.5]$	(2)	$5a - 23$
	(3)	$12x - 4y$	(4)	$\frac{5a+4b}{9} \quad *1$
2	(1)	-9	$*1 \quad \frac{5}{9}a + \frac{4}{9}b, \frac{5a}{9} + \frac{4b}{9} \text{ 等も可}$	
	(2)	力		
3	①	$x = -2$	②	$y = 7$
	(1) ②	$x = 17$	③	$y = -3$
	③	$x = 3$	④	$y = -5$
	(2)	$a = -1$	(3)	$b = -2$
	(3)	マフラー... 900 (円), セーター... 2600 (円)		
4	(1)	$a = -\frac{3}{2} [-1.5]$	(2)	$-9 \leq y \leq 11$
	(3)	$y = 3x + 15$		
	(4)	傾き... -2	切片... 3	
	(5) ①	$(y =) 4$	②	$y = -x + 8$
	③	5 (cm)		
	④	$(x =) 11$		

5	(1)	イ	(2)	① ウ
	(3)	① 250π (cm ³)	(2)	② 6
			(2)	② 150π (cm ²)
選択問題 I				
6	(1)	$\angle x = 99$ (度)	(2)	$\angle x = 57$ (度)
	(3)	540 (度)	①	180 (度)
	(4) ②	144 (度)	③	(正) 十 漢字指定 (角形)
	(a)	$\angle DRB$ *2	(b)	1組の辺とその両端の角 *3 がそれぞれ等しい
	(c)	DB [BD]	(d)	CE [EC]
選択問題 II				
8	(1)	$\angle x = 27$ (度)	(2)	$\angle x = 94$ (度)
	(3)	工	(4)	$\frac{45}{2} [22.5]$ (cm ²)
	(a)	AD *2	(b)	AC *2
	(c)	$\angle CAD$ *2	(d)	2組の辺とその間の角 *4 がそれぞれ等しい

*2 アルファベットの順が異なるものは不可
 *3 「1組の辺とその両端の角」, 「2角夾辺」等 同内容なら可
 *4 「2組の辺とその間の角」, 「2辺夾角」等 同内容なら可

解 説

1 (4) $\frac{4}{3}a - \frac{7a+5b}{9} + b = \frac{12a}{9} - \frac{7a+5b}{9} + \frac{9b}{9} = \frac{12a - (7a+5b) + 9b}{9} = \frac{12a - 7a - 5b + 9b}{9} = \frac{5a+4b}{9}$

2 (1) $-4x^2y^3 \div 12x^3y^2 \times (-6x^2y) = \frac{4x^2y^3 \times 6x^2y}{12x^3y^2} = 2xy^2$
 $2xy^2$ に $x = -8$, $y = -\frac{3}{4}$ を代入して, $2 \times (-8) \times \left(-\frac{3}{4}\right)^2 = 2 \times (-8) \times \frac{9}{16} = -9$

(2) 自然数 N は, $10a+b$ と表されます。よって, $10a+b \leq 79$ (力)です。

3 (1)③ $\begin{cases} 6x+5y=-7 & \cdots \textcircled{7} \\ \frac{x+3}{2} - \frac{y-7}{3} = 7 \cdots \textcircled{4} \end{cases}$ とします。④ $\times 6$ より, $3x-2y=19 \cdots \textcircled{5}$ としてから解きます。

(2) 解が同じだから, $\begin{cases} 3x-2y=4 \\ 7x-2y=12 \end{cases}$ と組み合わせて解いて, $x=2$, $y=1$

$\begin{cases} 2ax-by=-2 \\ bx+3ay=-7 \end{cases}$ に $x=2$, $y=1$ を代入して, $\begin{cases} 4a-b=-2 \\ 3a+2b=-7 \end{cases}$ を解くと, $a=-1$, $b=-2$

(3) マフラーの定価を x 円, セーターの定価を y 円とすると, 定価のとき, $x+y=3500 \cdots \textcircled{7}$,
 セールのとき, $x \times \left(1-\frac{3}{10}\right) + y \times \left(1-\frac{25}{100}\right) = 2580 \cdots \textcircled{4}$, ⑦と④を連立方程式として解き,
 $x=900$ (円), $y=2600$ (円) ※問題に合っています。

4 (1) 傾き = 変化の割合 = $\frac{y \text{の増加量}}{x \text{の増加量}}$ より, $a = \frac{-3}{2} = -\frac{3}{2}$

(2) $x=-1$ のとき, $y=4+7=11$, $x=4$ のとき, $y=-16+7=-9$ だから, $-9 \leq y \leq 11$

(3) 平行な2つの直線の傾きは等しいから, 求める直線の式を $y=3x+b$ (b は定数)とします。
 $y=3x+b$ に $x=-2$, $y=9$ を代入すると, $9=-6+b$ より, $b=15$ だから, $y=3x+15$

(4) $6x+3y=9$ より, $3y=-6x+9$, $y=-2x+3 \rightarrow$ 傾きは -2 , 切片は 3

(5)① A は直線 $y=\frac{1}{4}x+3$ 上の点で x 座標が 4 だから, y 座標は, $y=\frac{1}{4} \times 4+3=4$

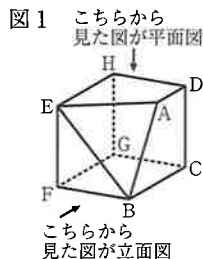
② $A(4, 4)$, $B(8, 0)$ より, 直線 m の傾きは, $\frac{0-4}{8-4} = -1$ です。 b を定数として,
 直線 m の式を $y=-x+b$ とおき, $x=8$, $y=0$ を代入して, $b=8$ より, $y=-x+8$

③ 点 C は直線 l 上の点で, 点 C の x 座標は点 B の x 座標と等しいから, $y=\frac{1}{4}x+3$ に $x=8$
 を代入して, $y=\frac{1}{4} \times 8+3=5$, よって, $C(8, 5)$ となり, $BC=5-0=5$ (cm)

④ 点 P と点 Q の x 座標を p ($p>8$)とすると, 点 P の y 座標は, $y=-p+8$, 点 Q の y 座標は,
 $y=\frac{1}{4}p+3$ と表されます。 $PQ=\frac{1}{4}p+3-(-p+8)=\frac{5}{4}p-5$ だから,
 $\frac{5}{4}p-5=\frac{35}{4}$ として, $p=11$ ※ $p>8$ だから, 問題に合っています。

5 (1) 点 O から, 線分 BC と線分 CD までの距離が等しくないといけ
 ないから, 点 O は $\angle BCD$ の二等分線上にあります(イ)。

(2) 立面図は正面から見た図, 平面図は真上から見た図です。また,
 ねじれの位置にある2つの辺(直線)は, 同じ平面上にないから,
 右の図1の EH , DH , EF , HG , FG , CG の6つの辺です。



(3)① (円錐の体積) + (円柱の体積)

$$= \frac{1}{3} \times \pi \times 5^2 \times 12 + \pi \times 5^2 \times 6 = 100\pi + 150\pi = 250\pi \text{ (cm}^3\text{)}$$

② 展開図にしたとき, 円錐の側面を表すおうぎ形の弧の長さは, 底面の円周と等しく,
 $2\pi \times 5 = 10\pi$ (cm), 側面のおうぎ形のもとになる円の円周は, $2\pi \times 13 = 26\pi$ (cm)で,
 おうぎ形は円の, $\frac{10\pi}{26\pi} = \frac{5}{13}$ だから, 面積は, $\pi \times 13^2 \times \frac{5}{13} = 65\pi$ (cm²)
 円柱の部分の側面積は, $6 \times 10\pi = 60\pi$ (cm²), 底面積は, $\pi \times 5^2 = 25\pi$ (cm²)
 よって, 表面積は, $65\pi + 60\pi + 25\pi = 150\pi$ (cm²)

6 (1) 右の図2において, 三角形の内角の和で,

$\angle y = 180^\circ - 34^\circ - 47^\circ = 99^\circ$, $l \parallel m$ より, 平行線の同
 位角は等しく, $\angle x = \angle y = 99^\circ$

(2) $\angle x = \frac{\text{外角の和}}{360^\circ} - 101^\circ - 108^\circ - 94^\circ = 57^\circ$

(3) 右の図3で, 三角形の内角と外角の関係より,

$\angle g = \angle d + \angle e$ となるから, $\angle a + \angle b + \angle c + \angle d + \angle e + \angle f$
 $= \angle a + \angle b + \angle c + \angle g + \angle f =$ (五角形 $ABCGF$ の内角の和)
 よって, $180^\circ \times (5-2) = 540^\circ$

* $\angle f = \angle h + \angle i$ より, $\angle a + \angle b + \angle c + \angle d + \angle e + \angle f$
 $= \angle a + \angle b + \angle c + \angle d + \angle e + \angle h + \angle i$
 $=$ (五角形 $ABCDE$ の内角の和) $= 540^\circ$ として求めてもよいです。

(4) ② $\cdots 180^\circ \times \frac{4}{4+1} = 144^\circ$, ③ \cdots このとき外角は,
 $180^\circ - 144^\circ = 36^\circ$ だから, $360^\circ \div 36^\circ = 10$ より,
 この正多角形は正十角形です。

8 (1) 右の図4で, $\angle y = (180^\circ - 28^\circ) \div 2 = 76^\circ$

三角形の内角と外角の関係より, $\angle x = 76^\circ - 49^\circ = 27^\circ$

(2) 平行四辺形のとなり合う角の和は 180° だから, $\angle ABC$
 $= 180^\circ - 112^\circ = 68^\circ$, よって, $\angle ABF = 68^\circ - 25^\circ = 43^\circ$,
 ひし形 $ABEF$ で, $\triangle ABF$ は二等辺三角形だから,
 $\angle x = 180^\circ - 43^\circ \times 2 = 94^\circ$

(3) Γ は, 右の図5のような場合があります。

(4) 四角形 $ACDE$ はひし形で, ひし形の2本の対角線は互いの中点で垂直に交わるから,
 $AF = \frac{1}{2}AD = \frac{15}{2}$ cm, $CF = \frac{1}{2}CE = \frac{1}{2}AB = 2$ cm, $\angle DFC = 90^\circ$ です。
 四角形 $ABCE$ は平行四辺形で, $AB \parallel EC$ となるから, $\angle FAB = \angle DFC = 90^\circ$ です。
 四角形 $ABCF$ は台形で, その面積は, $\frac{1}{2} \times (FC + AB) \times AF = \frac{1}{2} \times (2 + 4) \times \frac{15}{2} = \frac{45}{2}$ (cm²)

